

D61 心不全治療薬の予測精度比較による最適分類

城 真範（産総研）、森田 瑞樹（産総研）、赤穂 昭太郎（産総研）、麻生 英樹（産総研）、神嶋 敏弘（産総研）、荒牧 英治（京大）、橋田 浩一（東大）、興梠 貴英（自治医大・東大）@IBIS 2013（東工大大岡山蔵前会館）

●背景

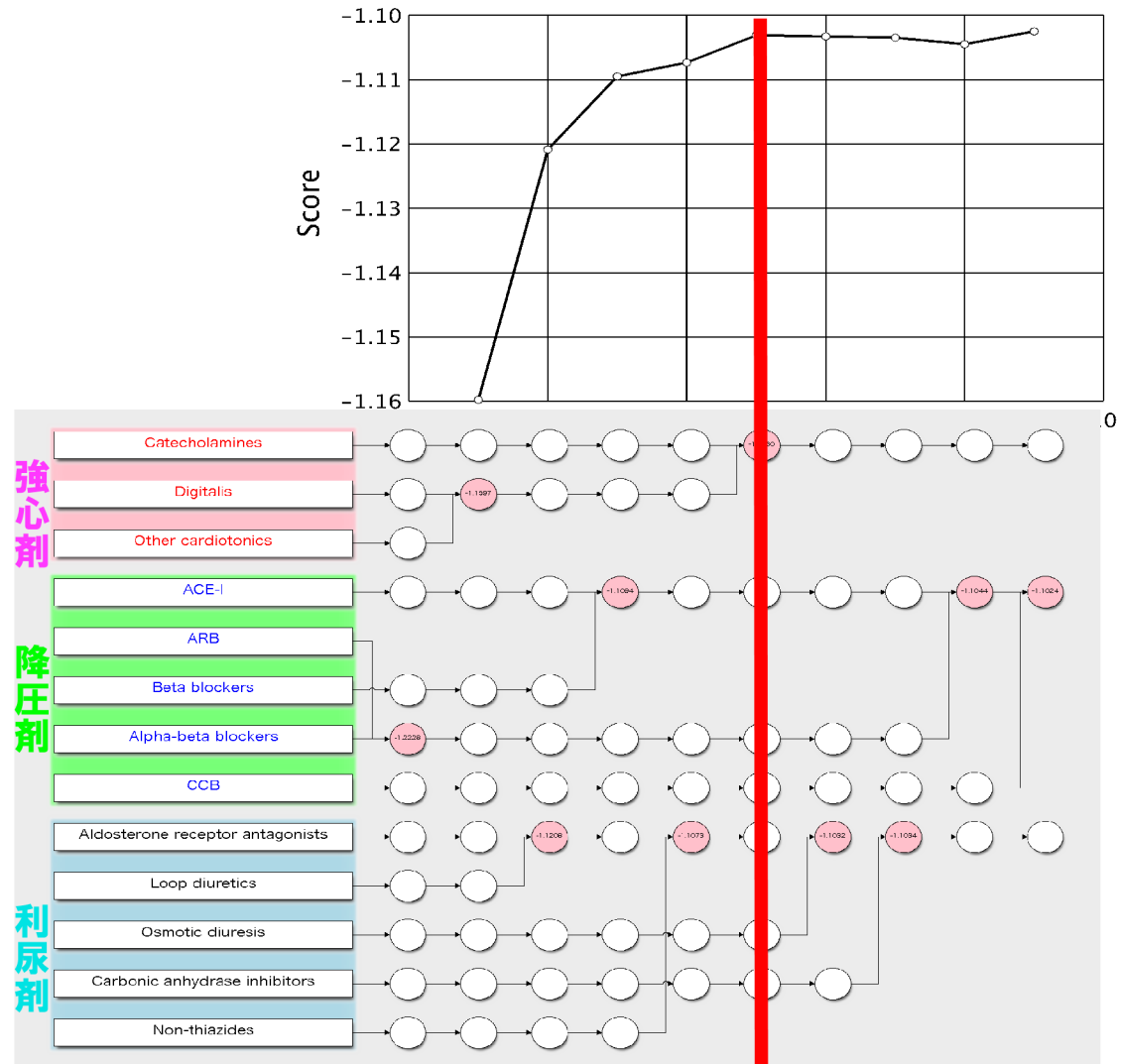
- 心不全患者の検査値(状態)に対する医師の投薬(行動)を強化学習によって解析したい。
- 状態の指標:BNP(心不全の度合い)、CRE(腎機能の悪さ)
- 2つの薬剤分類で方策推定(人工知能学会2013)
大分類:3種→行動集合が小さすぎ
中分類:13種→データに対し状態空間が広すぎ
→今回は適切な分類を探索する(行動集合圧縮)

●データ

- 東京大学附属病院循環器内科に心不全で入院したことのある患者から、検査値履歴と投薬履歴。

●実験

- 検査値と投薬を一つのエピソードとして、その予測精度を交差確認法にて評価→結果右図



得られた最適な分類パターン